

平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月14日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小野原 秀次 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	77,397	2.3	2,555	40.1	2,854	32.3	1,904	65.5
28年9月期第3四半期	75,686	4.5	1,824	△14.6	2,158	△12.1	1,150	△22.5

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 2,006百万円 (94.4%) 28年9月期第3四半期 1,031百万円 (△34.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	176.42	—
28年9月期第3四半期	106.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年9月期第3四半期	55,873	25,110	44.9	2,324.92
28年9月期	50,348	23,320	46.3	2,159.33

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 25,097百万円 28年9月期 23,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
29年9月期	—	10.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	2.0	2,800	10.0	3,150	1.6	1,750	0.8	162.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	10,796,793株	28年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	1,838株	28年9月期	1,758株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	10,795,013株	28年9月期3Q	10,795,084株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国経済の緩やかな景気回復基調に合わせ、我が国経済においても好調な企業業績を背景に設備投資拡大や雇用情勢の改善などもみられるものの、米国の外交政策や英国のEU離脱を始めとする欧米の地政学的不安定要因が続いており、欧米の金利上昇圧力やオリンピック後の国内景気への不安要因などによる企業業績の先行き不透明感、消費税や社会保障費の引き上げ等将来不安を背景とした個人消費の鈍化から、景気は依然として足踏みの状況が続いております。

小売業界におきましては、将来不安による消費停滞懸念や消費者の根強い節約志向、最低賃金の上昇と人手不足を背景とした人件費の増加、多様化する消費者のライフスタイルに対応する業態を超えた競合の出店攻勢や販売促進の熾烈化など、経営環境はますます厳しくなっております。

このような情勢の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、競争に打ち勝ち、多様なお客様のニーズ・ウォンツにお応えするため、「Back to Basics!」（基本に立ち返ろう！）をスローガンに、「個店主義」「商品開発」「時間帯MD確立」の3項目を重点取組項目として、店舗運営力を高めてまいりました。

営業面におきましては、名物商品の育成、オリジナル商品の開発、鮮度・味の向上を目的として生鮮部門の産地開拓、輸入商品・地域特産品の発掘をおこなってまいりました。

また、「食を通して健康になる」という当社グループコンセプト「Enjoy Life!」を深耕させ、食の力を芽吹かせる品揃えとサービスで毎日のライフスタイル提案を進めてまいりました。特に商品開発においては、昨今の中食需要に対して、毎日食べても美味しく健康になることを意識した商品作りをしてまいりました。

店舗運営におきましては、お客様の利便性向上を目的にスピードセルフレジ（精算をお客様自身で行うシステム）の導入をはじめ効率化・省力化の仕組み導入を進めてまいりました。

設備投資としましては、㈱マミーマートにおきまして、平成29年2月に神明町店（埼玉県川越市）を新規開店いたしました。また、近隣地への移転に伴い、平成29年5月に夏見台店（千葉県船橋市）を閉店いたしました。店舗の改装につきましては、4店舗において実施いたしました。ならびに、マミーサービス㈱において、平成29年6月に天然小さな旅川越温泉（埼玉県川越市）を改装いたしました。したがって、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め72店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高77,397百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益2,555百万円（同40.1%増）、経常利益2,854百万円（同32.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,904百万円（同65.5%増）となりました。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第3四半期連結累計期間は、売上高77,028百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益2,542百万円（同42.7%増）となりました。

[その他の事業]

売上高369百万円（前年同四半期比34.2%減）、セグメント利益13百万円（同68.8%減）となりました。

その他事業の減収減益は、平成28年6月にさいたま市見沼区で営業しておりました「むさしの湯」を閉店したことによるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より5,524百万円増加し55,873百万円となりました。これは主に、新規出店用地の取得によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より3,734百万円増加し30,762百万円となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より1,790百万円増加し25,110百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表いたしました「平成28年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,890	1,900
売掛金	780	819
有価証券	—	400
商品	2,540	2,812
貯蔵品	14	17
繰延税金資産	322	322
その他	1,444	1,207
流動資産合計	6,993	7,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,546	11,025
機械装置及び運搬具(純額)	230	231
土地	15,560	20,914
リース資産(純額)	1,791	1,671
建設仮勘定	1,700	1,824
その他(純額)	1,574	1,464
有形固定資産合計	32,402	37,130
無形固定資産	161	147
投資その他の資産		
投資有価証券	249	337
長期貸付金	296	292
差入保証金	7,718	7,921
賃貸不動産(純額)	371	370
繰延税金資産	1,398	1,392
その他	755	800
投資その他の資産合計	10,790	11,114
固定資産合計	43,354	48,393
資産合計	50,348	55,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,436	5,452
短期借入金	2,895	4,910
1年内返済予定の長期借入金	2,573	3,445
リース債務	154	155
未払費用	1,989	2,184
未払法人税等	544	519
賞与引当金	412	152
資産除去債務	39	—
その他	660	829
流動負債合計	14,705	17,648
固定負債		
長期借入金	6,299	7,920
リース債務	1,653	1,536
長期預り保証金	1,697	1,689
転貸損失引当金	132	103
役員退職慰労引当金	925	252
退職給付に係る負債	1,115	1,141
資産除去債務	488	462
その他	9	7
固定負債合計	12,322	13,114
負債合計	27,028	30,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	17,904	19,593
自己株式	△2	△2
株主資本合計	23,424	25,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	90
退職給付に係る調整累計額	△122	△105
その他の包括利益累計額合計	△113	△15
非支配株主持分	10	13
純資産合計	23,320	25,110
負債純資産合計	50,348	55,873

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	75,686	77,397
売上原価	55,964	57,031
売上総利益	19,721	20,365
営業収入	985	1,033
営業総利益	20,706	21,399
販売費及び一般管理費	18,882	18,843
営業利益	1,824	2,555
営業外収益		
受取利息	45	44
受取配当金	8	7
不動産賃貸料	123	155
受取手数料	145	149
その他	154	125
営業外収益合計	476	482
営業外費用		
支払利息	32	34
不動産賃貸費用	102	139
その他	8	10
営業外費用合計	143	183
経常利益	2,158	2,854
特別利益		
固定資産売却益	—	16
役員退職慰労引当金戻入額	3	—
資産除去債務戻入益	24	23
特別利益合計	28	40
特別損失		
固定資産除却損	15	5
減損損失	100	—
転貸損失引当金繰入額	119	—
特別損失合計	236	5
税金等調整前四半期純利益	1,950	2,889
法人税等	706	982
過年度法人税等	86	0
四半期純利益	1,157	1,907
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,150	1,904

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,157	1,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	81
退職給付に係る調整額	10	17
その他の包括利益合計	△125	98
四半期包括利益	1,031	2,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,025	2,003
非支配株主に係る四半期包括利益	6	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	75,153	533	75,686	—	75,686
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	27	27	△27	—
計	75,153	561	75,714	△27	75,686
セグメント利益	1,781	42	1,824	—	1,824

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	77,028	368	77,397	—	77,397
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	77,028	369	77,397	△0	77,397
セグメント利益	2,542	13	2,555	—	2,555

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。